



山形中央ロータリークラブ クラブ会報 CLUB NEWS

WEEKLY REPORT YAMAGATA CENTRAL



国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「20年を祝し、次の10年へ」

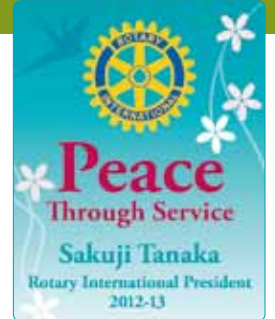


〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30～13:30(但し第5週は18:30～) 会場 ホテルメトロポリタン山形

- | | | |
|------------------|----------------|------------------------------|
| ■ 会 長 鹿野 淳 一 | ■ 職業奉仕 遠藤 隆 一 | ■ 副 幹 事 江目 祐 一 |
| ■ 会長エレクト 板垣喜代志 | ■ 社会奉仕 長橋 正 人 | ■ 会 計 小林 敏 郎 |
| ■ 副 会 長 三浦 龍 夫 | ■ 新世代奉仕 安部 敏 一 | ■ S A A 佐藤 吉 信 |
| ■ 直前会長 安藤 英 男 | ■ 国際奉仕 齊藤 真 一 | 国際ロータリー会長 田中 作次(八 潮 R C) |
| ■ クラブ管理運営 金子 将 人 | ■ 幹 事 伊藤 和 子 | 第2800地区ガバナー 和田 廣 (南陽東RC) |
| | | 第5ブロックガバナー補佐 千歳 徹 (山形イコングRC) |

◆日時／2013.3.26 12:30 ◆例会場／ホテルメトロポリタン山形



会長挨拶



だいぶ暖かくなり昨年と比べると山形市内は残雪もなくなっているようです。三寒四温を繰り返し桜の季節になるのでしょうか早く過ぎしやすい気候になってほしいと思います。

早いもので平成24年度が終わろうとしています昨年と比べれば景気の話に話が行きそうです。景気を底上げすることは大事ですが同時に東日本大震災の被災地における復旧・

復興のスピードを上げる事はもっと大事なことでと思います。様々な問題があるのですが問題解決に力を注いでほしいと願っています。

今日は、東北電力の春山優子部長にエネルギー事情のお話をさせていただきます。震災以来、原子力発電所も停止しており電力の原料問題があるなか4月から電気料金値上げが目前になっています。先日、山形県のエネルギーに関する会議でも同席させていただきましたがわかりやすく説明いただけるものと思いますのでよろしくお願ひします。



鹿野淳一・伊藤和子／東北電力春山様の卓話に感謝して。
石山徳昭／お花ありがとうございます。

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	26名	—
修正出席	40名	40名	33名	82.5%
他クラブで メイクアップ された会員	(山形東)海谷靖夫 金子昌弘 武田耕一 (山形西)武田耕一 (イブニング)長谷川淳			



ゲスト卓話

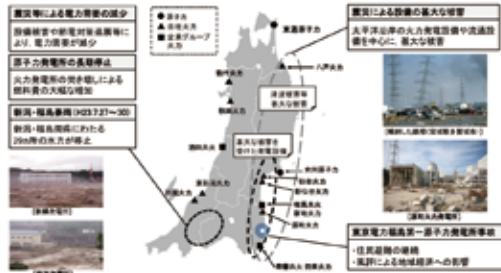
「電力事情と今後のグリーンエネルギーの展望」

東北電力(株)山形支店 企画管理部長 春山優子氏

1. 電気料金値上げ申請の背景

(1) 当社を取り巻く厳しい経営環境

- 東日本大震災による設備被害と電力需要の減少、新潟・福島豪雨による設備被害、原子力発電所の長期停止による火力発電所の燃料費の大幅増加、東京電力福島第一原子力発電所の事故による直接・間接の影響など多くの大きな課題に取り組んでいます。



1. 電気料金値上げ申請の背景

(2) 収支悪化への対応

- 収支面においては、平成24年度末で3年連続の赤字決算となる見込みであり、会社創立以来の厳しい状況となっています。
- 膨大なコスト負担を吸収するため、これまで緊急的な支出抑制や繰り延べを含むあらゆる分野のコスト削減などに努めてきましたが、全てはカバーし切れず、自己資本を取り崩して対応してきました。

■経常損益・当期純損益の推移(億円)

	21年度	22年度	23年度	24年度想定*
経常損益	277	428	▲1,842	▲600
当期純損益	205	▲311	▲2,132	▲480

■収支影響等(平成23~24年度累計)

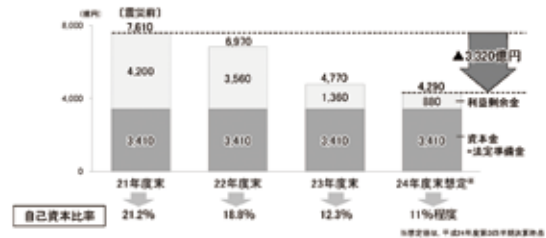


1. 電気料金値上げ申請の背景

(3) 当社の財務状況

- 財務面においては、震災等による特別損失や燃料費の増加などにより、震災から2年程度で自己資本の約4割(利益剰余金の約8割)が減少しました。
- 現在の状況が続くと、資金調達と設備保全の両面から電力の安定供給に支障をきたすこととなるため、やむなく電気料金の値上げをお願いすることいたしました。

■自己資本の変化

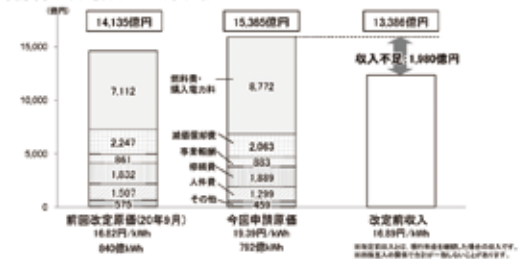


2. 電気料金値上げ申請の概要

(1) 原価算定の概要

- 今回の申請にあたっては、国の審査要領に則り、平成25~27年度の3年間を対象として、電気事業に必要な費用を見積もりました。
- 申請原価と改定前収入を比較すると、1,980億円の収入不足が発生する見込みとなりました。

■申請原価と改定前収入の差(年平均)

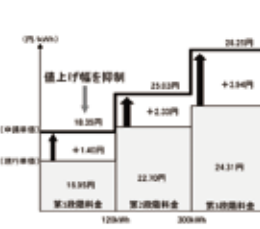


2. 電気料金値上げ申請の概要

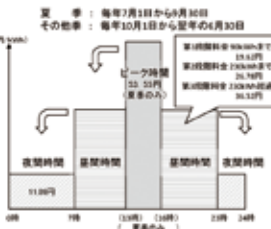
(6) お客さまのご負担軽減に向けた取り組み

- ご家庭向けの電気料金は、3段階料金を設定していますが、今回の値上げでは、毎日の生活に必要な電気のご使用量に相当する第1段階料金の値上げ幅を抑制しています。
- 電気ご使用時間の移行により、電気料金の節約が可能となるメニュー「ピークシフト季節別時間帯別電灯」を新たに設定いたします。

■3段階料金制度(従量電灯Bの場合)



■ピークシフト季節別時間帯別電灯のイメージ



1. 再生可能エネルギーとは

自然エネルギーを中心に繰り返し循環使用できるエネルギー

主な再生可能エネルギー	特徴	メリット/デメリット
電力発電	再生可能エネルギーの中では比較的発電コストが低い 出力は風速により変動	メリット CO2排出量が少ない、もしくは増加させない 国産エネルギーと給電付けられ、エネルギー自給率向上に寄与
太陽光発電	電力コスト削減効果が大きい 出力は日照量により変動	デメリット 現時点ではコスト高 出力が不安定しない エネルギー密度が低い
地熱発電	連続運転により出力安定 資源量は豊富、しかし国産エネルギーと給電付けられ、エネルギー自給率向上に寄与	
水力発電	連続運転により出力安定 資源量は豊富、しかし国産エネルギーと給電付けられ、エネルギー自給率向上に寄与	
バイオマス発電	連続運転により出力安定 資源量は豊富、しかし国産エネルギーと給電付けられ、エネルギー自給率向上に寄与	

近隣クラブ例会案内

月曜日

山形西 大沼デパート
中山 料亭むらくま
天童西 ホテル王将
山形イブニング パルスグランデール

火曜日

山形南 ホテルキャッスル
山辺 料亭さつき
寒河江さくらんぼ ホテルソフィオー

水曜日

山形 山形グランドホテル
かみのやま 月岡ホテル
天童東 天童ホテル

木曜日

山形北 山形グランドホテル
寒河江 グランデール寒河江

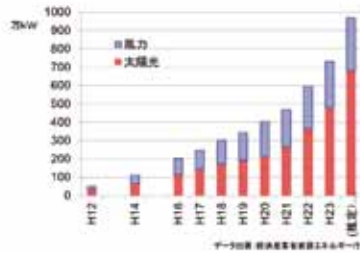
金曜日

山形東 ホテルキャッスル
天童 瀧の湯ホテル

※ 欠席したらメイクアップ、メイクアップしたら出席委員長までご連絡下さい。

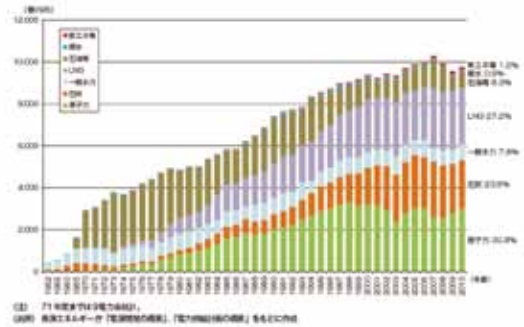
2. 日本の太陽光・風力発電の導入量(出力)

- ◆太陽光・風力発電設備は年々増加しています。平成24年度末算計で約900万kWです。
- ◆平成24年7月に再生可能エネルギー固定価格買取制度が始まり、今後も増加することが予想されます。



P2

(参考) 日本の発電電力量の推移



P4

(参考) CO2排出量の変化

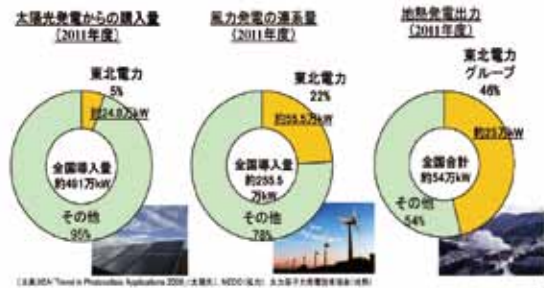
■CO2排出量・緑化率単位、販売電力量の年毎の推移



P4

3. 東北電力の再生可能エネルギーの取組み (1/3) 【概要】

- ◆水：自社設備として日本最多の210ヵ所を保有 (約243万kW)
- ◆太陽光：増加傾向にあるものの、全国の5% (約24.8万kW)
- ◆風力：系統連系量は全国一で、日本全体の22% (約55.5万kW)
- ◆地熱：日本最大の発電設備を有し、全国の46% (当社グループ合計で約25万kW)



P5

3. 東北電力の再生可能エネルギーの取組み (2/3) 【メガソーラー開発】

- ◆低炭素社会実現に向けた取組みの一環として、当社管内の複数地点において、平成22年度までに合計1万kW程度のメガソーラー発電所を建設・運転する計画。

発電所名	八戸太陽光発電所	仙台太陽光発電所	源町太陽光発電所
予定地点	八戸火力発電所内	仙台火力発電所内	源町火力発電所内 (福島県東磐城郡)
出力	1,500kW	3,000kW	1,000kW
発電電力量 (一般家庭)	約140万kWh/年* (約500世帯分)	約210万kWh/年* (約600世帯分)	約105万kWh/年* (約300世帯分)
	平成22年12月の計画動向	平成24年4月の計画動向	平成21年1月の計画動向予定



八戸太陽光発電所



仙台太陽光発電所



源町太陽光発電所

P6

5. 山形県の再生可能エネルギー開発の状況

- ◆山形県は「エネルギー戦略」において、目指すべき姿の一つに再生可能エネルギー供給地化を挙げています。
- ◆2030年までに約100万kWの再生可能エネルギーによる電源・熱源の開発を目標としております。うち、電源分は約8万kWです。
- ◆目標実現のために、県が主導する形での開発や県内事業者の資金調達等への補助金メニューの整備をおこなっています。
- ◆現在のところ系統連系済みのものが約8万kW、実現性が高いと思われる計画中のものが約4万kWであり、15%程度の進捗率と見ております。

山形県の取組み概要

風力	庄内地区での企業局、酒田市による開発 農有地への公募
バイオマス	県内の木質バイオマスの活用促進
太陽光	村山地区での企業局案件 農有地、市町村有地への公募
中小水力	浄水場、ダム所、農業水利施設の発電への活用促進

P10

5. 山形県の再生可能エネルギー開発の状況 (2/2)

- ◆山形県エネルギー戦略策定以降、山形県や自治体等が計画しているもの。



P11

6. 今後の展望

- ◆普及にはコスト削減の解決が必要。
- ◆自然の状況が大きく左右され、出力が不安定(太陽光、風力)。
- ◆出力変動が電力系統全体に影響し、補償がらついたり、工機補償装置が正常に動作せずによる不良が発生する恐れもある。
- ◆広大な土地が必要になる(太陽光、風力)。
- ◆立地規制などの緩和が必要(風力、地熱)。
- ◆系統対策などの開発が必要になってくる。
- ◇ 基幹エネルギーには時間がかかる。

P12

2012～2013年度国際ロータリーテーマ／奉仕を通じて平和を



山形中央ロータリークラブ クラブ会報 CLUB NEWS

WEEKLY REPORT YAMAGATA CENTRAL



国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「20年を祝し、次の10年へ」



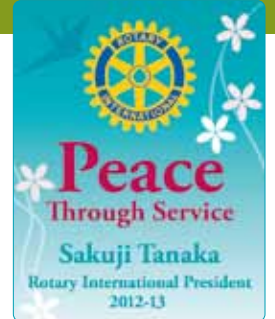
〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL (023) 632-7777 FAX (023) 624-5200

例会 毎週火曜日12:30～13:30 (但し第5週は18:30～) 会場 ホテルメトロポリタン山形

- 会長 鹿野 淳一
- 会長エレクト 板垣喜代志
- 副会長 三浦龍夫
- 直前会長 安藤英男
- クラブ管理運営 金子将人
- 職業奉仕 遠藤隆一
- 社会奉仕 長橋正人
- 新世代奉仕 安部敏
- 国際奉仕 齊藤真
- 幹事 伊藤和子
- 副幹事 江目祐一
- 会計 小林敏郎
- S A A 佐藤吉信

国際ロータリー会長 田中作次(八潮RC)
第2800地区ガバナー 和田廣(南陽東RC)
第5ブロックガバナー補佐 千歳徹(山形ヴェンチアRC)

◆日時/2013.4.2 12:30 ◆例会場/ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング/君が代・奉仕の理想



会長挨拶



つい先日、新年のあいさつをしたと思ったらもう4月です、月日の早さに驚いています。今日はあいにくの雨ですが少しずつ暖かくなり過ごしやすい気候になってきました、これから花見のシーズンになり、さらにゴールデンウィークを控えて様々な計画を立てられている

事と思います。私も日頃、家族サービスをしていないものですから少しはこの時期に何かしなければ考えているところですが普段何もしていないので思いつかずに困っているところです。

さて、新年度が始まるわけですが報道などを見ていま

すと大企業と中小企業の景況感の違いにかなりの差があるように思います。大企業においては好況感のある報道が多いようですが中小においては慎重な意見が多くみられる気がします。このまま社会全体が景気の良さを実感できるような経済状況になっていただきたいと思っています。

バブルがはじけて早20数年になり、現在社会に出て活躍しようとする人々は景気が良い状態を知らずに社会に出て行くのだと思います。あのバブルの経験はともかく好況な経済状況というのを経験させてあげたいと思います。

今日はジェット口の鈴木孝平所長を講師に迎えて卓話をお願いしてありますのでよろしくお願いいたします。



鹿野淳一・伊藤和子/ジェット口鈴木様の卓話に感謝申し上げます。

4月 会員誕生・創立企業日

誕生日

齋藤 真 4.1 奥山 宏 4.26
長橋正人 4.30

企業創立記念日

後藤完司 T4.4.7 中川清美 S50.4.1
板垣喜代志 T12.4.1 川合勝芳 S51.4.17
今野久仁正 S2.4.1 安部 敏 S56.4.1
白田友二 S30.4.1 佐藤登美子 S58.4.23



本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	26名	—
修正出席	40名	40名	29名	72.5%
他クラブで メイクアップ された会員	(山形西) 武田耕一			

